

企業は「防災」と、事業継続の両面からの防災計画を

企業は「防災」と、災害時の企業活動の維持・回復を目指す「事業継続」両面から考えなければいけません。

そのためにも防災計画はしっかりと立てておかなければいけません。その内容は多岐に渡りますので、社内で話し合い組織としての体制を整えましょう。

また避難訓練も定期的に行い社員全員がとっさの行動がとれるようにしておかなければなりません。従業員・お客様の安全を守るため臨時休業の判断をするなど早めの判断をすることも必要です。

事業所の自助での防災対策や地域との日頃からの関係が、災害時の防災力につながります。日頃から地域とコミュニケーションをとり緊急時の対応について相談しておきましょう。

緊急時にあると便利な資機材

- 投光器 ○ ブルーシート
- 軍手 ○ はしご ○ スコップ
- 簡易トイレ ○ 自家用発電機 等

行動を支援

- ・ 12 外国語対応や音声読上げ機能 (日本語 + 12 外国語)、ピクトグラム (絵文字・絵単語) を使用して、外国人や高齢者などを含め、多くの方にわかりやすく防災情報を提供

【加古川市からの情報】

防災ネットかこがわ
<https://bosai.net/kakogawa/>
 もしくはkakogawa@bosai.net宛に空メールを送信

市内12カ所の避難所を自主避難所として13時00分に開設しました。自主避難所を希望される場合は、各避難所に準備のうえ避難してください。

なお、自主避難所には食料や寝具などはありませんので、各自でご準備ください。開設する自主避難所は以下のとおりです。

<自主避難所>
 加古川公民館 (079-423-3841)
 加古川西公民館 (079-423-3467)
 東加古川公民館 (079-423-6066)
 小野コミュニティホール (080-2920-6667)
 赤方公民館 (079-452-0700)
 加古川北公民館 (079-428-7509)
 野口公民館 (079-426-9020)

地震や台風などの災害発生時に、携帯電話やパソコンを使って、避難情報などを見ることができシステムです。

メールアドレスを登録した人には、避難勧告などの緊急情報が更新されるたびに「お知らせメール」で最新の情報が届きます。

このメールでは次のような情報を得ることが出来ます。

【市内の避難勧告などの情報】

災害情報を入手する

【国土交通省からの情報】

川の防災情報



<https://www.river.go.jp/index>

国土交通省が発信している「川の防災情報」は、大雨などの際に、雨や川の水位の状況などをインターネットを通じてリアルタイムに配信し、避難判断等に必要情報を入手できるウェブサイトです。

ここでは、パソコンやスマホからレーダ雨量や河川の水位、CC TV画像 (監視カメラ画像)、浸水想定区域を見ることが出来ます。例えば「洪水の浸水想定区域図」については、避難所の位置などが入った各市町村の水害ハザードマップを見ることが出来るほか、スマホのGPS機能により即座に今いる場所の状況を表示できます。また、洪水予報が発表された場合

には、1〜6時間後の水位予測も見る事が出来ます。

● 洪水情報のプッシュ型配信
 緊急速報メールを活用した洪水情報のプッシュ型配信を行います。



(画像例)

「河川に氾濫のおそれがある(氾濫危険水位に到達した)情報」および「河川氾濫が発生した情報」を対象となる市町村に配信しています。

【気象庁からの情報】

防災情報



<https://www.jma.go.jp/jma/menu/menuflash.html>

全国の情報はもちろん、登録地域は市町村まででき、発表中の注意報や警報、地震情報など最新の情報を得ることが出来ます。

- ・ 市内で発生した詐欺事件などの情報
- ・ 兵庫県災害対策センターからの緊急情報
- ・ 主要河川の危険水位情報
- ・ 光化学スモッグに関する情報
- ・ 全国瞬時警報システム (J-ALERT) を通じて発表される国民保護に関する情報 (弾道ミサイル、大規模テロなど)

- 【加古川市からのお知らせメール】
- ・ 休日の救急医療機関
- ・ 市民の安全・安心に関する情報
- 【気象情報お知らせメール】
- ・ 震度4以上の地震や津波に関する情報
- ・ 大雨、暴風、洪水などの気象警報、河川洪水予報

【その他】

● 「逃げなきやコール」

水害や土砂災害などの危険が迫った際に、家族に直接電話をかけることで、離れた場所に暮らす高齢の家族などの避難を呼びかける「逃げなきやコール」。仕組みは、あらかじめアプリをダウンロードし、遠方の家族と自身が暮らす地域を登録しておくことで、万が一

水害や土砂災害などの危険が迫った際に、登録した地域の災害情報がプッシュ通知されます。

この通知を受けて、遠方に暮らす家族に電話で避難を促してもらおうという流れになります。

このサービス・アプリは、NHK、ヤフー、KDDI、NTTドコモから提供されています。

- 「逃げなきやコール」の流れ
- ① アプリを入手
 - ② 「あなた」と「相手」の住む地域を登録
 - ③ もしもの時に、登録した住所の災害情報をプッシュ通知
 - ④ 大切な人に、情報を電話連絡

電話を受けた人は、安全な場所へ避難

防災は一人一人が日頃から災害リスクを認識し、日頃の備えと避難など素早い行動をとることが大切です。

しかし突然の災害時に落ち着いて行動することは非常に困難です。だからこそ、落ち着いて考えられるうちに準備するべきものを整え、とるべき行動を頭に入れておきましょう。

【兵庫県からの情報】

ひょうご防災ネット



Android

iOS

兵庫県はスマートフォン用アプリ「ひょうご防災ネット」を使って災害情報を発信しています。

このアプリでは次のような情報を得ることが出来ます。

- ・ 自らの逃げ時や避難場所を登録しておく「マイ避難カード」機能を搭載
- ・ 「マイ避難カード」の「逃げ時」として、避難情報(避難指示等)や防災気象情報を登録した場合、発令時にはプッシュ通知され、利用者の避難行動を喚起
- ・ 防災情報のポータルサイトとして、CGハザードマップや河川水位情報など、災害時に役立つ防災リンク集を装備
- ・ GPS機能を活用し、最寄りの避難場所を地図に表示して避難